



株式会社 ナックイメージテクノロジー  
CREATIVE 制作営業部  
2024年10月21日 T24014

# ALEXA 35

## ALEXA 35 & ALEXA 35 Live SUP 2.0.1

ソフトウェア・アップグレード・パッケージ SUP 2.0.1

リリースノート 日本語版

2024年10月1日

Document ID: D45 10006706

Release: K11517

和訳・追記

株式会社 ナックイメージテクノロジー

営業本部 制作営業部

〒107-0061

東京都港区北青山 2-11-3

03-3976-7901

# 目次

<b>A. 概要</b> .....	<b>2</b>
アップデートの推奨 .....	2
SUP 2.0.1 の新機能の概要 .....	2
SUP 2.0.0 の新機能の概要 .....	2
カメラ、ビューファインダー、レンズマウントのアップデートに関する注意点.....	2
ファイバーカメラアダプターとファイバーベースステーションのアップデート.....	3
LBUS アクセサリーのアップデート .....	3
Camera Control Monitor CCM-1 のアップデート .....	3
Audio Extension Module AEM-1 のアップデート .....	4
LBUS アクセサリーのアップデート .....	4
Codex Compact Drive 1TB のアップデートに関する注意点.....	4
ダウンデートに関する注意点.....	4
互換性のあるソフトウェア .....	5
サンプルフッター .....	5
オンラインレジストレーション.....	5
<b>B. SUP 2.0.1 の新機能</b> .....	<b>6</b>
ALEXA 35 Live での収録中の Look 変更.....	6
その他の変更点 .....	6
<b>C. SUP 2.0.0 の新機能</b> .....	<b>6</b>
ALEXA 35 Live のサポート .....	6
ALEXA 35 用ライセンスオプションの追加 .....	8
タリーライトモジュール TLM-1 のサポート.....	9
その他の変更点 .....	9
<b>D. バグフィックスと安定性の向上</b> .....	<b>10</b>
<b>E. 既知の問題 (ソフトウェア)</b> .....	<b>11</b>
アクセサリー .....	11
レンズ.....	11
モニタリング .....	11
再生 .....	12
リモートコントロール .....	12
ユーザビリティ .....	12
ワークフローおよびツール .....	13
<b>F. 既知の問題 (ハードウェア)</b> .....	<b>14</b>
<b>G. アップデート手順</b> .....	<b>15</b>
ソフトウェア・アップデート・パッケージ (SUP)のダウンロード方法 .....	15
カメラのアップデート方法 .....	15

## A. 概要

ALEXA 35 SUP 2.0.1 には、ALEXA 35 Live の新機能と重要なバグフィックスが含まれています。

カメラをご利用になる前に本文書および“既知の問題”項、ユーザマニュアルをご一読いただけるよう強く推奨します。

詳しい情報は、下記の URL からご覧いただけます。

<https://www.arri.com/alexa-35>

<https://www.arri.com/alexa35live>

### アップデートの推奨

このリリースには、カメラの重要なバグフィックスと安定性の向上が含まれています。すべてのオーナーにアップデートを推奨します。

### SUP 2.0.1 の新機能の概要

- ALEXA 35 Live における収録中の Look の変更

### SUP 2.0.0 の新機能の概要

- ALEXA 35 Live のサポート
  - ライブペインティング
  - Multicam Look
  - Multicam テクスチャ
  - リモートタリーのサポート
  - ローカルカメラ操作の制限
- ALEXA 35 用ライセンスオプションの追加
- タリーライトモジュール TLM-1 のサポート

### カメラ、ビューファインダー、レンズマウントのアップデートに関する注意点

- この SUP は、出荷済みのすべての ALEXA 35 カメラにインストールすることができます。
- 作品の撮影中に新しい SUP をインストールすることは推奨しません。
- MVF-2 および LPL マウントマウントがカメラに接続されていた場合、それらも自動的にアップデートされます。
- レンタル会社や撮影現場で、古いソフトウェアがインストールされている MVF-2 やレンズマウントがカメラに接続された場合、カメラがその旨を通知します。その場合、MENU > System > Update から MVF-2 またはレンズマウントのアップデートを行うことを推奨します。カッコ内の 1 つ目の値は現在インストールされているバージョンを、2 つ目はカメラの SUP に含まれるバージョンを表します。下図では、MVF-2 はバージョン 2.24 であり、カメラの SUP に含まれるバージョン 3.17 より古いことがわかります。アップデートを行うと、レンズマウントのように、両方の番号が同じになります。



ALEXA 35 SUP 2.0.1 には、下記のバージョンが含まれています。

- Multi Viewfinder MVF-2: 3.51
- LPL Mount: 1.58
- PL Mount (LBUS): 1.96
- PL Mount (Hirose): 1.96
- EF Mount (LBUS): 1.14
- Camera Access Protocol (CAP): 1.12
- mxf Library: 4.2.5

- アップデート中にビューファインダーがオフになり、進行状況が見えなくなる場合がありますが、その場合はサイドディスプレイを確認してください。
- アップデート中は電源の供給が途切れず、またビューファインダーケーブルを抜かないようにしてください。アップデート方法の詳細は、“G. アップデート手順”項をご覧ください。
- ウェブリモート経由でカメラ操作や SUP アップデートを行う際は、誤操作を防ぐため、ブラウザをプライベートまたはシークレットモードで使用してください。

## ファイバーカメラアダプターとファイバーベースステーションのアップデート

- カメラの SUP には、ファイバーカメラアダプターとファイバーベースステーションのソフトウェアは含まれていません。カメラのアップデート中にそれらのデバイスが接続されていても、アップデートは行われません。
- ファイバーカメラアダプターとファイバーベースステーションのアップデート方法は、それぞれのユーザマニュアルをご覧ください。

## LBUS アクセサリーのアップデート

- 本 SUP には LBUS アクセサリーソフトウェアは含まれておりません。RIA-1、ZMU-4、cforce mini モータ、cforce Plus モータ、マスターグリップ、オペレータコントロールユニット OCU-1、LCUBE などのアクセサリーは、SUP アップデート中のカメラに接続されていても、アップデートされることはありません。
- LBUS アクセサリーをアップデートするには、ARRI ウェブサイトからダウンロードした LBUS デバイス用のアップデートファイルを USB スティックの ARRI/ECS/ にコピーし、カメラに挿入します。次に、カメラの LBUS コネクタに LBUS デバイスを接続し、カメラのメニューから MENU > System > Update > Update LBUS Devices... を選択するとアップデートが開始されます。

## Camera Control Monitor CCM-1 のアップデート

- カメラの SUP には、Camera Control Monitor CCM-1 のソフトウェアは含まれていません。アップデート中のカメラに CCM-1 が接続されていても、CCM-1 自体はアップデートされません。
- CCM-1 をアップデートするには、ARRI のウェブサイトから CCM-1 のアップデートファイルをダウンロードし、USB スティックのルートフォルダ (最上階層のフォルダー) にコピーします。その後、USB スティックを CCM-1 に接続し、Firmware > Update からアップデートファイルを選択します。このとき、CCM-1 はカメラから切断しておく必要があります。

## Audio Extension Module AEM-1 のアップデート

- Audio Extension Module AEM-1 のソフトウェアは含まれていません。アップデート中のカメラに AEM-1 が接続されていても、AEM-1 自体はアップデートされません。
- AEM-1 をアップデートするには、ARRI のウェブサイトから AEM-1 のアップデートファイルをダウンロードし、USB スティックのルートフォルダ (最上階層のフォルダー) にコピーします。その後、USB スティックを AEM-1 に接続し、MENU > SETUP > UPDATE から YES を選択し、アップデートを行います。

## LBUS アクセサリーのアップデート

- 本 SUP には LBUS アクセサリーソフトウェアは含まれておりません。RIA-1、ZMU-4、cforce mini モータ、cforce Plus モータ、マスターグリップ、オペレータコントロールユニット OCU-1、LCUBE などのアクセサリーは、アップデート中のカメラに接続されていても、アップデートされません。
- LBUS アクセサリーをアップデートするには、ARRI ウェブサイトからダウンロードした LBUS デバイス用のアップデートファイルを USB スティックの ARRI/ECS/ にコピーし、カメラに挿入します。次に、カメラの LBUS コネクタに LBUS デバイスを接続し、カメラのメニューから MENU > System > Update > Update LBUS Devices... を選択するとアップデートが開始されます。

## Codex Compact Drive 1TB のアップデートに関する注意点

シリアルナンバーが 602##### 以下の Codex Compact Drive 1TB は、ALEXA 35 で使用する前にアップデートを行う必要があります (新しく出荷されるドライブは不要です)。ファームウェアの古いドライブがカメラに挿入されると、アップデートプロンプトが表示されます。

終了後もカメラはアップデートモードを維持するため、複数のドライブを続けてアップデートすることができます。通常の運用モードに戻すには、カメラを再起動します。

注：ドライブのデータはすべて非可逆的に消去されます。アップデート前にデータをバックアップしてください！

注：アップデートされた Compact Drive 1TB と新しい Compact Drive 2TB は SUP 7.1.1 の ALEXA Mini LF でサポートされます。

## ダウンデートに関する注意点

ALEXA 35 を以前のバージョンにダウンデートすることは可能です。ALEXA 35 Live は、SUP 2.0.0 未満のソフトウェアに対応していません。

- S/N 6849 以降の MVF-2 および S/N 273xxxxx 以降の Compact Drive 2TB は、SUP 1.0.4 以降の ALEXA 35 にも対応しています。

## 互換性のあるソフトウェア

- ALEXA 35 Live は、以下のバージョンのコンポーネントに対応しています。
  - LPS-1 ファイバーカメラアダプター：ソフトウェア v0.3.1 以降
  - LPS-1 ファイバーベースステーション：ソフトウェア v0.3.1 以降
  - Skaarhoj RCP：ソフトウェア v1.0.3 (core-arri-camera)以降
- Multicam テクスチャが適用された ARRIRAW クリップは、DaVinci Resolve 19.0 beta 6 でのみポストプロセス可能です。
- AEM-1 の出力モニタリング機能を使用するには、AEM-1 が v1.1G にアップデートされている必要があります。アップデートファイルは ARRI AEM-1 のウェブサイトからダウンロードできます。  
<https://www.arri.com/en/technical-service/firmware/software-and-firmware-updates-for-audio-extension-module>
- SUP 1.2.3 以降の ALEXA 35 で使用する場合、Camera Control Monitor CCM-1 は SUP 5.5.2 以降にアップデートされている必要があります。SUP 5.5.1 以前の CCM-1 は、機能が大幅に制限されたり、使用できないことがあります。CCM-1 SUP 5.5.2 は ALEXA 35 SUP 1.2.0 以降に対応しています。
- カスタムカラーマネジメントを使用するには、ALF4c ファイルを作成できる ARRI Reference Tool version 1.4.0 以降が必要になります。
- ALEXA 35 で収録したファイルの編集や Look (ALF4 または ALF4c)を作成するには、ARRI Reference Tool (ART) の最新版を使用してください。ALEXA 35 SUP 2.0.0 は、ART 1.4.0 以降で問題なく動作することが確認されています。ARRIRAW Converter は、ALEXA 35 のファイルに対応していません。  
<https://www.arri.com/en/learn-help/learn-help-camera-system/tools/arri-reference-tool>
- HDE ファイルを作成するには、CODEX Device Manager が version 7.3.3 にアップデートされている必要があります。  
<https://help.codex.online/content/downloads/software>
- サードパーティソフトウェアと ALEXA 35 への対応リストは、下記の URL からご覧いただけます。すべてのソフトウェアは必ず最新版を使用してください。  
<https://www.arri.com/en/learn-help/learn-help-camera-system/alexa-35-workflows>

## サンプルフッター

ALEXA 35 カメラで撮影されたサンプルフッターは下記の URL からダウンロードできます。

<https://www.arri.com/en/camera-systems/cameras/alexa-35>

## オンラインレジストレーション

オンラインカスタマーレジストレーションをまだ行っていない場合、下記の URL からお持ちのカメラをご登録してください。今後、ソフトウェアアップデートなどの最新情報を速やかにお送りいたします。また、ARRI ALEXA 35 のご購入後 1 ヶ月以内にご登録いただければ、1 年間の延長保証が無料で受けられます。

<https://www.arri.com/en/technical-service/extended-warranty-and-service-contracts/camera-systems/productregistration>

## B. SUP 2.0.1 の新機能

### ALEXA 35 Live での収録中の Look 変更

ALEXA 35 Live、FCA-1 が接続された ALEXA 35、Multicam ライセンスがインストールされた ALEXA 35 では、収録中であっても CAP 経由でアクティブな Look を変更できるようになりました。これは、RCP やサードパーティのクライアントなどの CAP プロトコル経由でのみ可能で、カメラメニューや Web Remote 経由では変更できません。

注 1 : Skaarhoj RCP を使用する場合、software 1.0.3 (core-arri-camera)以降にアップデートする必要があります。

注 2 : クリップメタデータには、収録開始時にアクティブであった Look のみ記録されます。収録中に Look を変更しても、メタデータには反映されません。

### その他の変更点

電源が入っていない LPL マウントから誤ったデータが送信され、レンズマッピングやプリマークドリングに影響が出ていた問題が解決されました。

## C. SUP 2.0.0 の新機能

### ALEXA 35 Live のサポート

SUP 2.0.0 と同時に、マルチカメラシステムである ALEXA 35 Live がリリースされました。本バージョンが、ALEXA 35 Live の新機能をサポートする最初のソフトウェアとなります。

カメラに Multicam ライセンスがインストールされているか、FCA-1 が接続されている場合、すべてのライブプロダクション機能が表示されます。

### ライブペインティング

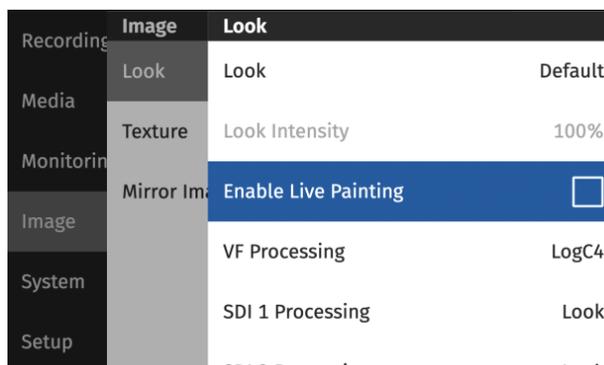
Multicam ライセンスでは、ペDESTAL、ブラックガンマ、リフト、ニーといった、中継業界では馴染み深いシェーディングパラメータをリアルタイムで調整可能です。このオプションは、MENU > IMAGE > LOOK にあるイメージメニューから有効化できます。

ライブペインティングが有効になると、ディスプレイ・レンダリング・トランスフォーム (DRT) は、拡張された diffuse white point をもつ Live REVEAL DRT に変更されます。これは、ITU 推奨の挙動に合わせ、より美しいライブプロダクション映像を収録するためです。この場合、diffuse white point は、HDR で 203nits、Cinematic REVEAL DRT で 100nits に設定されます。必要に応じて、ユーザが独自にカスタムカラーマネジメントを行った ARRI Look ファイル (.ALF4c)を使用して、カスタムレンダリングで内部 DRT を上書きしたり、Cinematic REVEAL レンダリングをロードすることも可能です。

ALEXA 35 Live では、新たなシェーディングパラメータとして、シネマティックレンダリングの強度を動的に調整でき

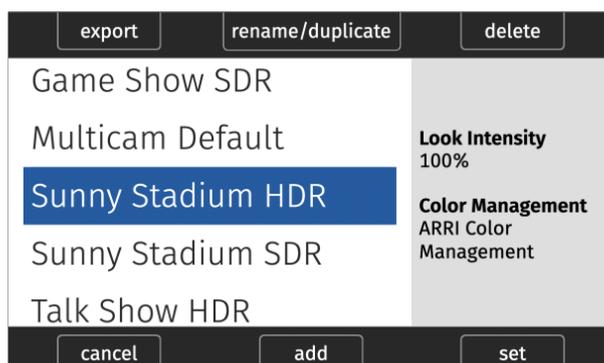
るシネマニーが追加されました。従来の ITU スタイルの Live REVEAL DRT と Cinematic REVEAL DRT の中間に位置する機能で、コントラスト、スキントーン、ハイライトのブリーチ、ロールオフなどのシネマティックな表現をリアルタイムで制御できるようになります。

ただし、専用の Look を適用することで挙動の安定性を担保しているため、カスタムカラーマネジメントを行った ARRI Look ファイル (.ALF4c)をロードしている場合、シネマニーのパラメータは操作できません。他のシェーディングパラメータに関しては、この制限はありません。



### Multicam Look

Multicam ライセンスでは、ライブプロダクション用にデザインされた 5 種類の Multicam Look を使用できます。



### Multicam テクスチャ

Multicam ライセンスでは、ライブプロダクション用にデザインされた、シャープネスとディテールに影響する ARRI テクスチャを使用できるようになります。

Multicam Sharpening テクスチャは、低～中程度の EI 設定に適しており、グレイン感を減らしたクリーンな映像を収録できます。高感度ノイズを避けるため、高 EI 設定では MCS0 から MCS3 の使用を推奨します。MCS4 と MCS5 は、ASA 2000 以上ではグレイン感が強調されるため、低～中程度の EI 設定で使用してください。

シャープネスやディテールをサードパーティのカメラシステムに合わせて設定する場合、MCS3 から始めることを推奨しています。

より柔らかくシネマティックなテクスチャで収録したい場合、標準の K445 Default や、シャープネスの低い MCS0 を使用してください。なお、既存の ALEXA 35 と映像を合わせる場合、K445 Default を使用する必要があります。



### リモートタリーのサポート

タリーの設定は、MENU > SYSTEM > BUTTONS + DISPLAY > TALLY に移動しました。また、新しく追加された“On (Remote/CAP)”を有効にすると、カメラのタリーおよび接続されているすべてのタリーライトを CAP 経由でリモート制御できるようになります。既存の“ON”の機能は“On (Recording)”に名称が変更されました。

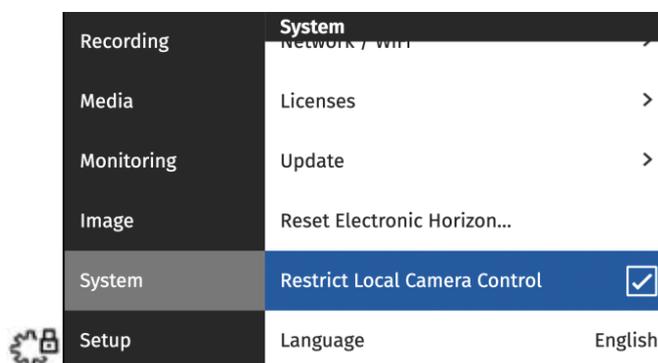
### ローカルカメラ操作の制限

ライブプロダクション環境では、ほとんどのカメラ設定はリモートで制御されるため、ローカルでのカメラ操作を制限するように設定できます。このとき、MVF-2、CCM-1、サイドディスプレイのメニューで、撮影に関するほとんどの項目がグレーアウトされ、カメラオペレータが変更できるのはビューファインダーに関する項目のみになります。

Web Remote のメニューはこの影響を受けません。



制限が有効になっている場合、HOME スクリーンに設定がロックされていることを示すアイコンが表示されます。



## ALEXA 35 用ライセンスオプションの追加

ARRI Shop から Cine License Upgrade for ALEXA 35 Live を購入し、カメラにインストールできるようになりました。このライセンスを購入するには、HW Info ファイルをアップロードする必要があります。MENU > SYSTEM > LICENSES でエクスポートされた HW Info ファイルは、USB スティックの ARRI/ALEXA35/LICENSES フォルダに保存されます。

<https://shop.arri.de/>

現在、ALEXA 35 および ALEXA 35 Live からインストールされたライセンスを削除する方法はありません。

### Cine License Upgrade for ALEXA 35 Live

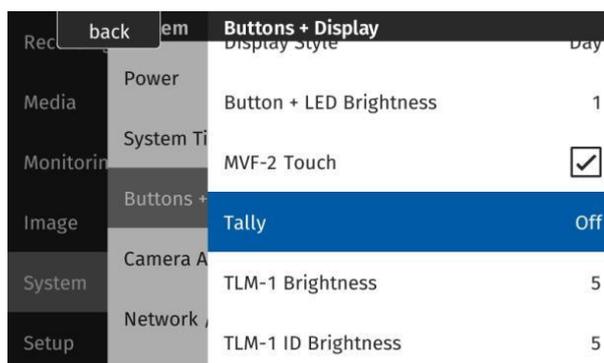
Cine License Upgrade for ALEXA 35 Live をインストールすると、最大 120fps、ARRIRAW 収録、Open Gate、アナ

モフィック収録、アナモフィック・デスクイーズ、プリレコーディングなど、ALEXA 35 の機能が使用できるようになります。結果的に、カメラは ALEXA 35 Live および ALEXA 35 のすべての機能を備えた状態になります。



## タリーライトモジュール TLM-1 のサポート

ALEXA 35 でタリーライトモジュール TLM-1 をサポートするようになりました。LBUS チェインに接続すると、カメラの Tally Mode の設定に応じて機能します。タリーID は現在のカメラターカ、遠隔操作の場合はファイバーステーションから割り振られて表示されます。MENU > SYSTEM > BUTTONS + DISPLAY でタリーのモードや ID 表示輝度を設定できます。



## その他の変更点

- CAP サーバは工場出荷状態でオンに設定され、CCM-1 の接続状態によって変更されることはなくなりました。
- ARRIRAW 再生時に、収録中に設定されていたホワイトバランスや EI の値が反映されるようになりました。Look は、現在の設定が反映されます。

## D. バグフィックスと安定性の向上

このアップデートには、下記のバグフィックスが含まれています（些末なバグフィックスは割愛します）。

- プリレコーディング時間が変更できない問題を解消しました。
- Hi-5 でアサインされたユーザボタンのラベルが表示されない問題を解消しました。
- セットアップファイルをロードしてもマスターマグニフィケーションが有効にならない問題を解消しました。
- Tally Light が工場出荷状態でオフになったため、SDI Rec Flag が使用できるようになりました。
- LCube CUB-1 が再起動した際に CineRT の感度が 18 にリセットされる問題を解消しました。
- CODEX Compact Drive 1TB がアップデートできない問題を解消しました。
- カスタムカラーマネジメント Look が CAP 経由で転送できるようになりました。
- 一部のユーザボタンの中国語表記を修正しました。
- 再生中に収録を開始すると同期オフセットが発生する問題を解消しました。

## E. 既知の問題 (ソフトウェア)

### アクセサリ

- **Camera Control App で FPS Preset が使用できない**

現在、Camera Control App では“FPS Preset”のフレームレートは設定できません。

- **Hi-5 から Enhanced Sensitivity を設定できない**

現在、Hi-5 から Enhanced Sensitivity の数値を選択することはできません。ES モードを使用する場合、ユーザボタン、ビューファインダー、Web Remote のいずれかで選択してください。

- **一部の/i レンズ装着時に WCU-4 が再起動を繰り返す**

一部の Cooke /i プロトコルを使用するレンズを装着すると、WCU-4 が再起動を繰り返すことがあります。レンズマウントを無効にし、LDA テーブルを使用してください。

- **CAM 経由での RIA-1 アップデート**

ALEXA 35 と RIA-1 の CAM コネクタを接続した状態で、カメラからアップデートを行うと失敗することがあります。この場合、LBUS で接続してください。

### レンズ

- **一部の/i レンズのレンズスケール表示に問題がある**

Cooke /i プロトコルを使用する一部のレンズで、レンズスケールが表示されなかったり、正しく表示されないことがあります。これらのレンズを使用する場合、LDA テーブルを用意してください。

### モニタリング

- **ProRes 3K 1:1 フォーマットの出力**

ProRes 3K 1:1 収録フォーマットは 422 3G HD SDI 出力をサポートしていません。422 1.5G か 444 3G を使用してください。

- **マスターマグニフィケーション使用時、サラウンドビューにフレームラインが表示されることがある**

マスターマグニフィケーションとサラウンドビューを組み合わせると、サラウンドビューに表示されないはずのフレームラインが表示されることがあります。

- **外部 LUT によりオーバーレイの彩度が低下する**

外部モニタリングデバイスに適用された LUT により、カメラオーバーレイの彩度が低下し、STBY と REC の表示が区別しづらくなることがあります。MENU > MONITORING > SDI > SDI 1 PROCESSING > OVERLAYS > OVERLAY BRIGHTNESS からオーバーレイの輝度を下げること、この問題が軽減されます。

- **MVF-2 OLED の映像がマゼンタに変色する**

まれに、MVF-2 OLED の映像がマゼンタに変色することがあります。SDI 出力や収録映像には影響しません。

## 再生

- **カメラ内再生の問題**

ライブ環境において、一定のコーデック・フレームレートの組み合わせで Look を変更すると再生に問題が発生することがあります。これは収録映像には影響しません。

- **再生映像が小さい**

マグニフィケーションやサラウンドビューを使用していると、収録やスタンバイ時のものよりも小さい映像が表示されることがあります。

- **CAP 経由でのクリップへのアクセス**

CAP 経由で再生をする場合、メディア内でアクセスできるクリップは 270 に制限されます。それ以降のクリップを再生したい場合、再度ディスプレイを使用してください。

- **再生モード終了後、カメラが反応しなくなる**

ユーザボタンで Check last clip または Playback を選択し、再生モードを終了した後、カメラが入力に反応しなくなることがあります。カメラは最大 4 秒後に元の状態に戻ります。

## リモートコントロール

- **ユーザボタンでしかプリレコーディングをオフにできない**

プリレコーディングを無効にするには、その機能がアサインされたユーザボタンを押すしかありません。アサインされたデバイスが手元がない場合、収録を開始し、メディアをカメラから引き抜いてください。収録の失敗に伴い、プリレコーディングが無効化されます。

- **ZMU-4 経由でカメラに接続した OCU-1 はオーバーライドを終了できない**

OCU-1 や Master Grip と ZMU-4 を組み合わせて使用する場合、一部の状況ではオーバーライド機能を使用できません。

- ワイヤレスコントロールユニットは、オーバーライドをサポートしていません。そのため、OCU-1 や Master Grip をクライアントモードで ZMU-4 に接続した場合、オーバーライド機能は使用できません。
- 現在、ALEXA Mini や Mini LF に OCU-1 や Master Grip が有線接続されている状態では、ZMU-4 をカメラにリモート接続しても、オーバーライド機能は使用できません。

ZMU-4 を CAM to EXT ケーブルのみでカメラに接続するか、対応する軸を OCU-1 でのみ制御するように設定する (Hi-5 の Menu > Control Setup で該当する軸を無効化する) ことで、この症状を回避できます。

## ユーザビリティ

- **CCM-1 のメニューを閉じると MVF-2 のメニューが開く**

CCM-1 と MVF-2 を併用している際に、CCM-1 でメニューを閉じると、MVF-2 のメニューが開きます。

- **CCM-1 の“M”ボタンを押すと MVF-2 のメニューが開く**

CCM-1 と MVF-2 を併用している際に、CCM-1 の“M”ボタンを押すとまず MVF-2 のメニューが開きます。再度“M”ボタンを押すことで、CCM-1 でもメニューが開きます。

- **一部の 290Wh バッテリーでカメラが起動しない**

稀に、充電状態により、一部の 290Wh バッテリーでカメラが起動しないことがあります。この問題は現在調査中ですが、SUP 1.2.3 では発生しないことがわかっています。カメラを SUP 1.2.3 にダウングレードするには、一度 SUP 1.3.0 にダウングレードしてください。

- **Webremote に一部のオプションが表示されない**

メニューによっては、ドロップダウンリストのうちの一部のオプションは表示されないことがあります。空白のリストをクリックするとオプションが表示されます。

## ワークフローおよびツール

- **Look の強度が Look メタデータに保存されない**

SUP 1.2.0 以降、Look の強度 (Look intensity) はクリップのメタデータに保存されないため、強度は常に 100% で表示されます。

- **UHD で縦方向ミラーリングを有効にした時のフレームGrab**

UHD 収録モードで、縦方向のミラーリングが有効になっている状態でフレームGrabを行うと、ノイズを含んだ画像が保存されます。これは、収録映像や出力映像に影響しません。必要であれば、縦方向のミラーリングを無効にしてフレームGrabを保存してください。

## F. 既知の問題 (ハードウェア)

- **BNC コネクターの脱落**

一部の ALEXA 35 では、BNC ケーブルを誤った角度で取り外そうとすると、BNC コネクタが脱落するおそれがあります。破損を防ぐためには、できるだけコネクタをまっすぐ引き抜いてください。この問題は、S/N 62000 ~ 62400 の機体でのみ発生します。

脱落したコネクタは、購入者、レンタルハウス、ディーラ、ARRI サービスセンターで交換可能です。万が一のために、コネクタの交換品を ARRI に無償で依頼することができます。以下の URL から、コネクタの交換方法を確認してください。

<https://arri.academy/SE-replacing-bnc-connectors-alexa35>

## G. アップデート手順

### ソフトウェア・アップデート・パッケージ (SUP)のダウンロード方法

ソフトウェア・アップデート・パッケージのダウンロードセクション (以下の URL)から SUP ファイルをダウンロードすることができます。USB スティックを用いて、下記の方法で SUP をカメラにインストールしてください。

<https://www.arri.com/en/technical-service/firmware/software-and-firmware-updates-for-cameras>

### カメラのアップデート方法

ALEXA 35 のソフトウェア・バージョンアップは USB スティックを使って行います。ソフトウェア・アップデート・パッケージ (SUP)はカメラ本体と、カメラに接続されているビューファインダー (MVF-2)、レンズマウントをアップデートします。

Camera Control Monitor CCM-1 はカメラとは独立したソフトウェアを採用しているため、カメラの前に CCM-1 をアップデートしてください。

アップデートは MVF-2 または Web Remote で行えます。Web Remote を使用する場合、WiFi またはイーサネットを経由 (要 ALEXA Ethernet/RJ-45 Cable KC-153-S, K2.72021.0)してカメラに接続し、ウェブブラウザで <http://alexa35-xxxxx.local> (xxxxx はカメラのシリアルナンバー)にアクセスします。Web Remote の詳細についてはユーザマニュアルをご覧ください。

1. ダウンロードしたファイル (\*.zip)を解凍し、2 種類のアップデートファイル (\*.SWU と \*.lic)を展開します。
2. USB スティックを exFAT ファイルシステムでフォーマットします。
3. USB スティックを ALEXA 35 に接続して、MVF-2 のカメラメニューから MENU > Media > Prepare USB medium を選択し、CONFIRM を押すことで、USB スティック内に必要なフォルダー構造が生成されます。
4. コンピュータに USB スティックを接続し、ARRI/ALEXA35/SUP のフォルダーに \*.SWU ファイルを配置します。同様に、ARRI/ALEXA35/LICENSES フォルダーに \*.lic ファイルを配置します。
5. SUP にはカメラボディだけではなく、ビューファインダー MVF-2 や LPL レンズマウント用のアップデートファイルが含まれています。そのため、アップデートを行うときは、MVF-2、LPL レンズマウントをカメラに装着してください。
6. アップデート中に電源が切れないよう、カメラを可能なら安定電源、またはフル充電されたバッテリーに接続してください。
7. Menu > Setup > Factory Reset...からファクトリーリセットを行います。
8. USB スティックをカメラに接続し、MENU > System > Update Camera...を選択します。
9. リストから適切な SUP ファイルを選択し、ジョグホイールを押します。
10. メッセージが表示されたら INSTALL を押し、インストールを準備します。
11. CONFIRM を押し、インストールを開始します。
12. アップデート状況を示すスクリーンがカメラに表示されます。カメラが再起動するまでオフにしたり電源を取り外さないでください。
13. アップデート終了後、成功のメッセージが表示されます。アップデートは最大 20 分ほどかかることがあります。
14. 再度ステップ 8~13 を行ってください。
15. Menu > System > System Time & Date で正しいタイムゾーンを選択してください。
16. アップデート時にカメラに MVF-2、LPL レンズマウントが接続されていなかった場合、それらのデバイス用のソフトウェアがカメラに保存されます。これらのデバイスが次にカメラに接続されたときにソフトウェアが古けれ

ば、カメラがアップデートを推奨します。

稀に、アップデートの阻害や失敗、重大なカメラエラーが発生した場合、MVF-2 が反応せず、カメラが正常な映像を出力しなくなることがあります。この場合、サイドディスプレイで WiFi を ON にし、Web Remote 経由で再度アップデートしてください。

本件に関するお問い合わせ：

※ 製品の仕様、外観は予告なしに変更することがあります ※消費税は、資産譲渡時の税率を適用し加算されます



株式会社 **ナック** イメージテクノロジー  
制作営業部 ダイヤルイン：03-3796-7901  
<https://www.nacinc.jp>

ISO 9001 認証取得

本 社 〒107-0061 東京都港区北青山 2-11-3 : 03-3796-7900  
大 阪 〒531-0072 大阪市北区豊崎 3-2-1 : 06-6359-8110  
名古屋 〒464-0075 名古屋市千種区内山 3-8-10 : 052-733-7955